

## 地域におけるストック・マネジメントによる持続可能な地域づくり

### ■ 趣旨

戦後、人口増加、経済成長、これに伴う市街地の拡大、積極的な公共投資・建設投資を背景として、現在の都市が形成されてきました。しかし、少子・高齢化の進行と人口減少、グローバル経済化に伴う産業構造の変化、国・自治体の財政状況の悪化等に伴い、都市に様々な歪が生じています。空き家の増加もそのひとつであり、平成25年の住宅・土地統計調査によれば全国の空き家は820万戸（空き家率：13.5%）となり、空き家による治安への不安、まちの活力への影響、不動産価値の低下などが懸念されています。

今、地域再生においては、これまで形成されてきた地域のストックをどのように活用しマネジメントしていくかが問われています。そうしたなか、自治体の空き家対策、空き家バンクや住み替え支援、既存建物のリフォームやリノベーションによる再生等、ストックを活かす取り組みが進められつつあります。そこで、本シンポジウムでは、建築ストックの活用と地域資源のマネジメントによる今後の市街地の再編と持続可能な地域づくりに向けた論点や課題について、最近の取り組み事例から考えます。

### ■ 内容

#### ◇基調講演（30分）

□北 真夫（国土交通省住宅局 住宅総合整備課 住環境整備室長）

テーマ 「空き家の実態と縮退時代の建築ストック活用に関する政策動向」

#### ◇パネルディスカッション（80分）

テーマ 「建築ストックの活用マネジメントによる持続可能な地域づくり」

□パネリスト：北 真夫（国土交通省 住宅局 住宅総合整備課 住環境整備室長）

山本 寛（近畿日本鉄道 生活関連事業本部不動産事業統括部資産活用事業部長）

末村 巧（みんなの不動産代表）

中原 信（神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課長）

□コーディネーター：小浦 久子（大阪大学大学院工学研究科 准教授）

### ■ 開催要領

日 時：平成26年12月12日（金） 18:30～20:30

場 所：グランフロント大阪ナレッジキャピタルカンファレンスルーム B08（北館タワーB10階）

定 員：50名（先着順）

参加費：無料（学会員の方は必ず、会員証を当日ご持参下さい）

申込方法：学会HPにある参加申込みフォーム（[http://www.cpij-kansai.jp/cmt\\_plan/top/plan.html](http://www.cpij-kansai.jp/cmt_plan/top/plan.html)）にて、所属・氏名（ふりがな）、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、12月5日（金）までに申込んで下さい。なお、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能限りメールアドレスをご記入下さい。（得られた個人情報は今回の催しにのみ使用します。）

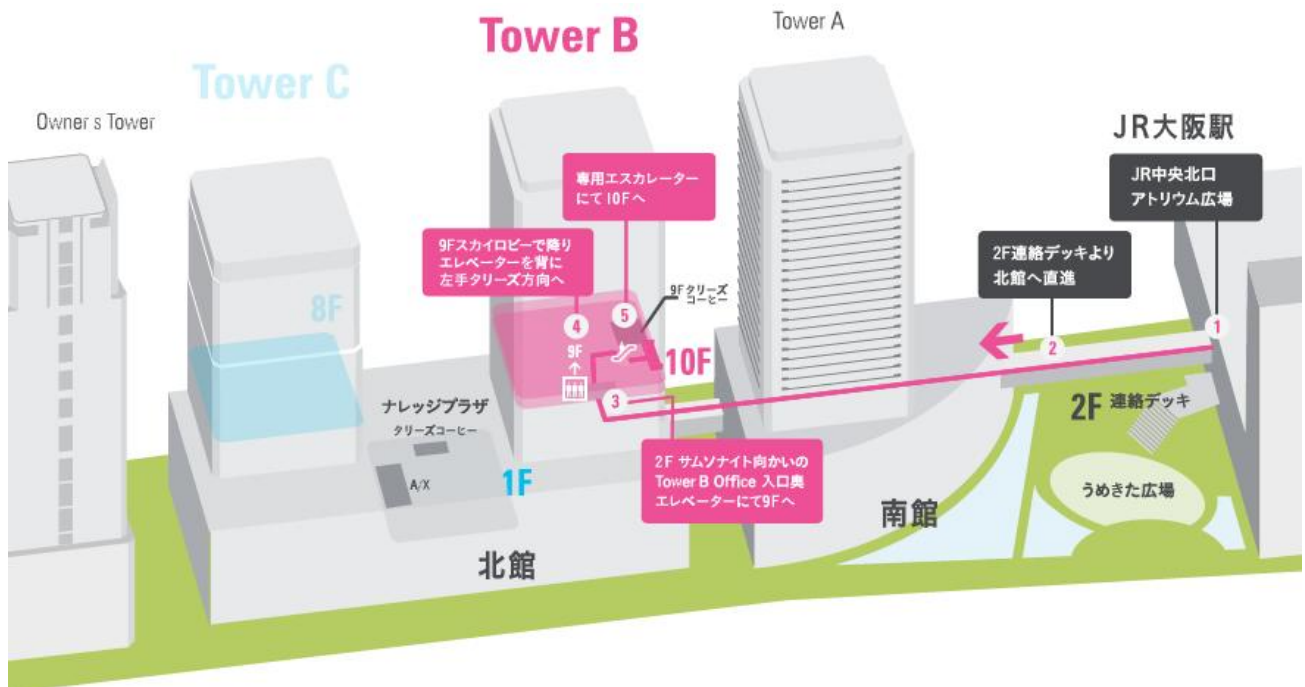
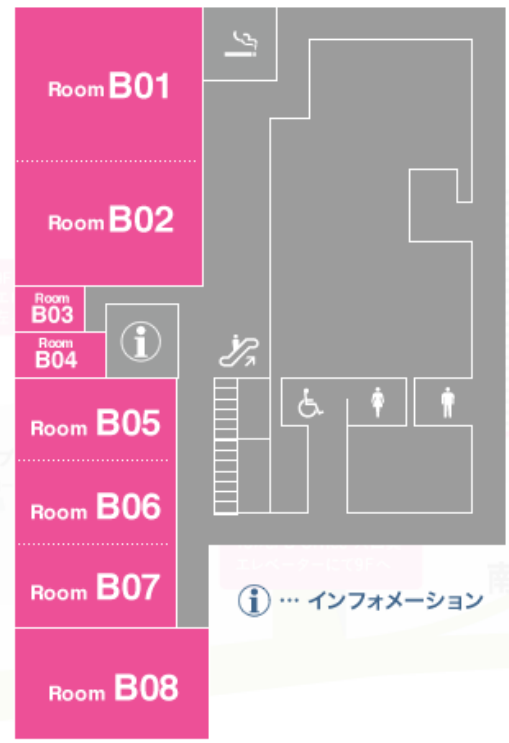


# 《アクセス》



詳細 フロアマップ アクセスルート

## CONFERENCE ROOMS TOWER B カンファレンス平面図



ナレッジキャピタルホームページより  
<http://www.kc-space.jp/accessmap/conference/>